

平成26年3月期第2四半期 決算短信補足資料

平成25年11月11日

丸大食品株式会社

URL <http://www.marudai.jp>

◇ 平成26年3月期上期連結業績	P.2
◇ 平成26年3月期上期セグメント別連結業績	P.3
◇ 連結財政状態	P.4
◇ 平成26年3月期上期連結業績のポイント	P.5
◇ キャッシュ・フロー	P.6
◇ 平成26年3月期通期連結業績計画	P.7
◇ 平成26年3月期通期セグメント別連結業績計画	P.8
◇ 平成26年3月期主力商品紹介	P.9

平成26年3月期上期連結業績

■売上高■

お客様の節約志向の浸透や競合他社との販売競争が激化する厳しい状況のもと、上期計画は下回ったものの、食肉事業の売上高が堅調に推移した為、2.0%の増収。

■営業利益■

原材料費の高騰や競争激化など厳しい事業環境が続く、経費削減につとめたものの、前年比△38.4%の減益。

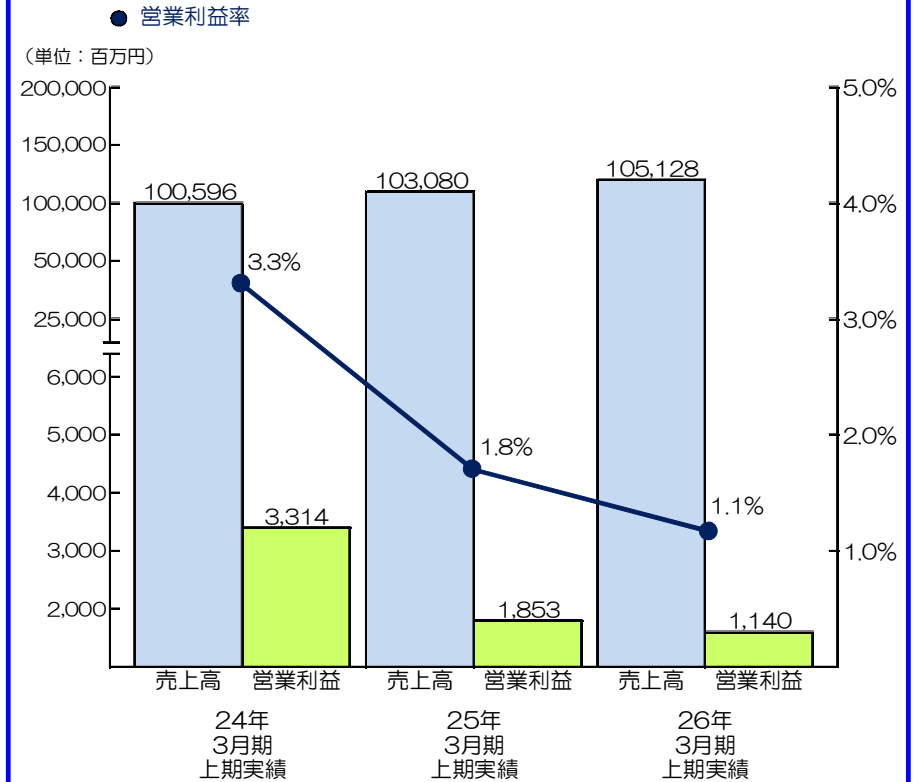
■四半期純利益■

上期計画を下回り、前年比△36.1%の減益。

(単位:百万円)

	25年3月期 上期実績	26年3月期 上期計画	26年3月期 上期実績	前年比		計画比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	103,080	108,000	105,128	2,048	2.0%	△ 2,871	△ 2.7%
営業利益	1,853	2,100	1,140	△ 712	△ 38.4%	△ 959	△ 45.7%
(売上高比率)	(1.8%)	(1.9%)	(1.1%)	(△ 0.7%)	-	(△ 0.8%)	-
経常利益	1,866	2,200	1,324	△ 541	△ 29.0%	△ 875	△ 39.8%
(売上高比率)	(1.8%)	(2.0%)	(1.3%)	(△ 0.5%)	-	(△ 0.7%)	-
四半期純利益	918	950	586	△ 331	△ 36.1%	△ 363	△ 38.2%
(売上高比率)	(0.9%)	(0.9%)	(0.6%)	(△ 0.3%)	-	(△ 0.3%)	-
1株当たり 四半期純利益	7.07円	7.31円	4.52円	△2.55円	△ 36.1%	△2.79円	△ 38.2%

売上高と営業利益の状況



※計画:平成25年5月10日発表連結業績予想

平成26年3月期上期セグメント別連結業績

(単位:百万円)

	25年3月期 上期実績	26年3月期 上期実績	前年比 増減額	前年比 増減率
加工食品事業	75,120	74,071	△ 1,049	△ 1.4%
ハム・ソーセージ	43,452	43,501	49	0.1%
調理・加工食品	31,668	30,569	△ 1,099	△ 3.5%
食肉事業	27,762	30,888	3,125	11.3%
その他	197	169	△ 27	△ 14.2%
連結売上高	103,080	105,128	2,048	2.0%
加工食品事業 (売上高比率)	1,802 (2.4%)	1,230 (1.7%)	△ 571 (△ 0.7%)	△ 31.7% -
食肉事業 (売上高比率)	△ 47 (△ 0.2%)	△ 187 (△ 0.6%)	△ 140 (△ 0.4%)	- -
その他	97	97	△ 0	△ 0.5%
営業利益 (売上高比率)	1,853 (1.8%)	1,140 (1.1%)	△ 712 (△ 0.7%)	△ 38.4% -

■加工食品事業■

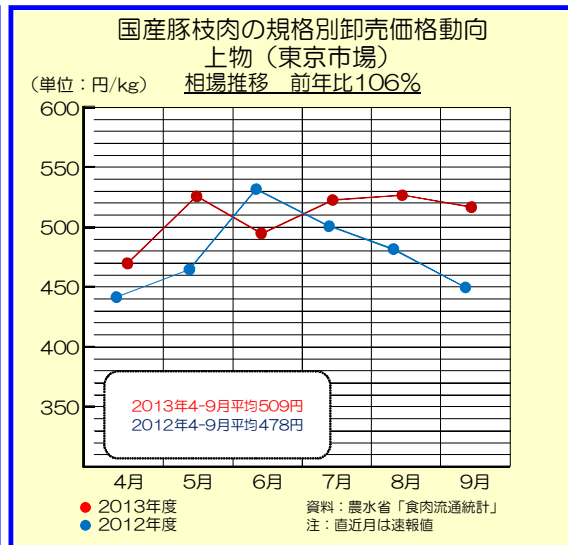
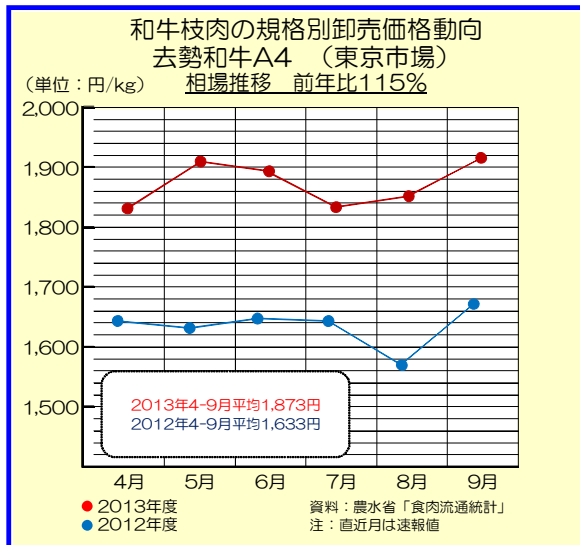
・ハム・ソーセージ部門は、主力ブランド「燻製屋熟成あらびきウインナー」などの主力商品を中心とした販売促進や新商品の投入、中元ギフトの売上拡大に取り組みました結果、当部門の売上高は前年比0.1%の増収。

調理・加工食品部門は、韓国風チゲ「スンドゥブ」シリーズや「ドリアソース」シリーズの売上が堅調に推移したほか、新商品の投入など売上拡大に努めましたが、コンビニエンスストア向け商品が低調に推移したことなどにより、当部門の売上高は前年比△3.5%の減収。

結果、当セグメントの売上高は前年比△1.4%の減収。

・営業利益は、原材料費の高騰や競争激化による販売価格の低下などにより、前年比△31.7%の減益。

資料：枝肉規格別卸売価格動向



■食肉事業■

・牛肉につきましては、米国産牛肉並びに国産牛肉の販売拡大に積極的に取り組みました結果、売上高は増加。

豚肉につきましても、輸入豚肉を中心とした売上拡大に取り組みました結果、売上高は増加。

結果、当セグメントの売上高は、前年比11.3%の増収。

・営業利益は、仕入価格の上昇や価格競争の激化などから△187百万円の損失。

連結財政状態

(単位:百万円)

	25年3月期	25年3月期	26年3月期	前期末比		25年3月期	25年3月期	26年3月期	前期末比
	第2四半期末	期末	第2四半期末	増減額		第2四半期末	期末	第2四半期末	増減額
現金及び預金	11,378	11,064	11,753	688	仕入債務	21,710	19,907	22,078	2,170
売上債権	26,457	24,994	22,283	△ 2,711	有利子負債	22,250	20,239	18,850	△ 1,389
棚卸資産	14,561	14,445	17,576	3,131	その他	12,666	12,588	13,013	424
その他の資産	3,061	2,191	2,116	△ 75	負債合計	56,626	52,736	53,942	1,205
流動資産合計	55,457	52,695	53,729	1,033	株主資本	64,624	65,735	65,282	△ 453
有形固定資産	51,357	50,462	50,325	△ 137	その他の包括利益累計額	1,576	2,816	3,691	875
無形固定資産	1,755	1,625	1,445	△ 180	少数株主持分	1,628	1,560	1,630	70
投資その他の資産	15,885	18,064	19,047	983	純資産合計	67,828	70,112	70,604	492
固定資産合計	68,997	70,152	70,817	665	負債純資産合計	124,455	122,848	124,546	1,698
資産合計	124,455	122,848	124,546	1,698					

※有利子負債 = 借入金 + リース債務

■設備投資・減価償却費の状況■

(単位:百万円)

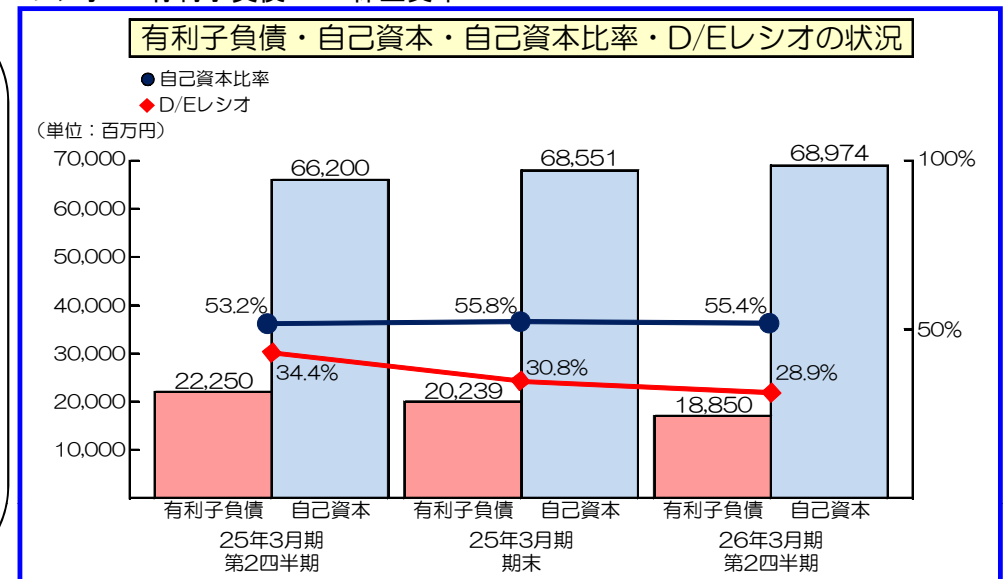
	25年3月期	25年3月期	26年3月期	前年同期比
	上期	通期	上期	増減額
設備投資	3,247	5,695	2,658	△ 589
減価償却費	2,825	5,906	2,711	△ 114

(単位:百万円)

	25年3月期	25年3月期	26年3月期	前期末比
	第2四半期末	期末	第2四半期末	増減額
自己資本	66,200	68,551	68,974	422
自己資本比率(%)	53.2%	55.8%	55.4%	△ 0.4%
D/Eレシオ(%)	34.4%	30.8%	28.9%	△ 1.9%

※D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 株主資本

- ◆総資産は、受取手形及び売掛金が減少しましたが、商品及び製品、投資有価証券が増加したことなどから、前期末比1,698百万円増加。
- ◆負債は、支払手形及び買掛金が増加したことなどから、前期末比1,205百万円増加。
- ◆純資産は、四半期純利益の計上などから、前期末比492百万円増加。
- ◆以上の結果、自己資本比率は、前期末比△0.4%低下し、D/Eレシオは、△1.9%低下。



平成26年3月期上期連結業績のポイント

(単位:百万円)

	25年3月期 上期実績	26年3月期 上期実績	前年比 増減額	前年比 増減率
売上高	103,080	105,128	2,048	2.0%
売上総利益 (売上高比率)	25,486 (24.7%)	24,383 (23.2%)	△ 1,103 (△ 1.5%)	△ 4.3% -
販売費及び一般管理費 (売上高比率)	23,633 (22.9%)	23,242 (22.1%)	△ 391 (△ 0.8%)	△ 1.7% -
営業利益 (売上高比率)	1,853 (1.8%)	1,140 (1.1%)	△ 712 (△ 0.7%)	△ 38.4% -
営業外損益	13	183	170	-
営業外収益	412	474	62	-
営業外費用	399	291	△ 108	-
経常利益 (売上高比率)	1,866 (1.8%)	1,324 (1.3%)	△ 541 (△ 0.5%)	△ 29.0% -
特別損益	△ 922	△ 168	753	-
特別利益	40	12	△ 27	-
特別損失	963	181	△ 781	-
税金等調整前四半期純利益	943	1,155	211	22.5%
法人税等	△ 92	479	572	-
少数株主利益	118	89	△ 29	-
四半期純利益	918	586	△ 331	△ 36.1%

増 減 要 因

■売上総利益■

売上総利益は、加工食品事業の売上高減少や食肉事業の収益性の悪化などから、前年比△1,103百万円(△4.3%)の減益。

■販売費及び一般管理費■

前年比△391百万円(△1.7%)減少。対売上高比率は22.1%と前年比△0.8%低下。売上高増加に伴い、配送費が前年比1.3%(144百万円)増加。

(単位:百万円)

	25年上期実績	26年上期実績	増減額
人件費	7,063	6,763	△ 299
配送費	10,717	10,861	144
その他	5,853	5,617	△ 236
合計	23,633	23,242	△ 391

■営業外損益■

営業外費用が△108百万円減少し、営業外損益は170百万円増加。

(単位:百万円)

	25年上期実績	26年上期実績	増減額
受取利息・配当金	138	157	19
その他	274	317	43
営業外収益	412	474	62
支払利息	172	138	△ 34
その他	226	152	△ 74
営業外費用計	399	291	△ 108

■特別損益■

特別損失が△781百万円減少。

(単位:百万円)

	25年上期実績	26年上期実績	増減額
固定資産処分益	39	1	△37
その他	1	10	9
特別利益計	40	12	△27
固定資産処分損	107	48	△ 58
減損損失	107	132	25
製品自主回収関連費用	213	-	△ 213
投資有価証券評価損	535	-	△ 535
特別損失計	963	181	△ 781

◆営業活動によるCF◆

売上債権の減少や仕入債務の増加、税金等調整前四半期純利益の計上などから、5,677百万円増加。

◆投資活動によるCF◆

生産設備の増強・合理化や品質安定のための固定資産取得による支出などから、△1,962百万円減少。

◆財務活動によるCF◆

有利子負債の減少や配当金の支払いなどから、△2,786百万円減少。

(単位:百万円)

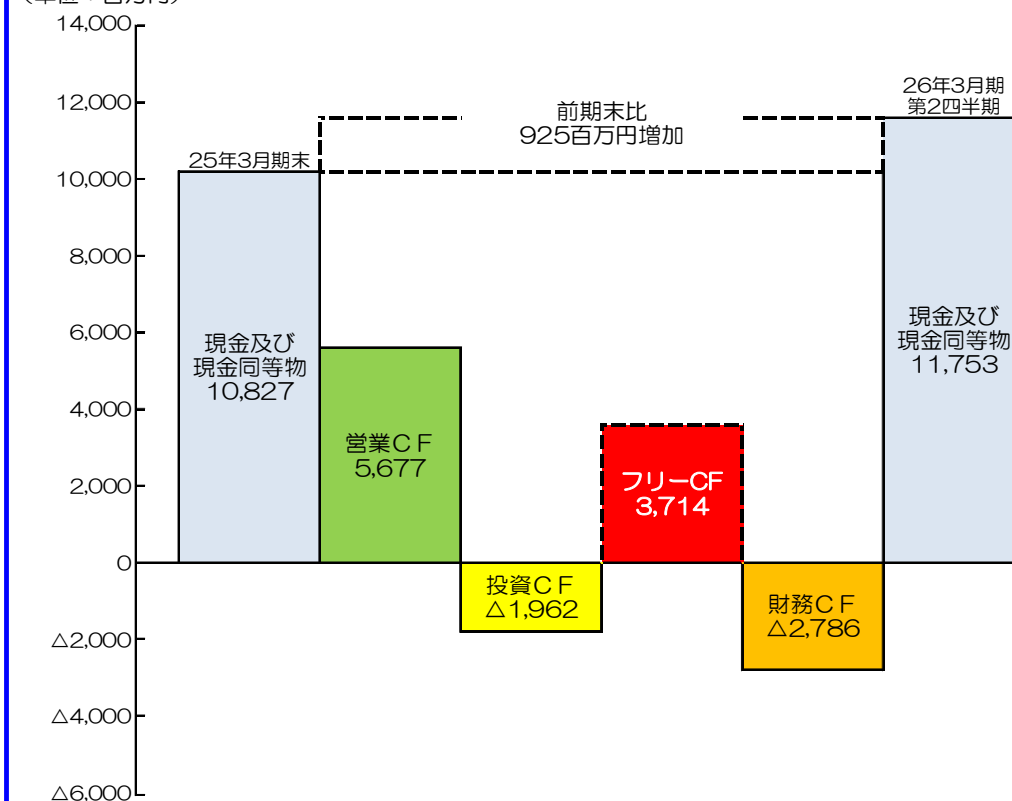
	25年3月期 第2四半期	26年3月期 第2四半期	増減額
営業活動によるCF	3,784	5,677	1,892
投資活動によるCF	△ 3,303	△ 1,962	1,341
フリー・キャッシュ・フロー ※1	480	3,714	3,234
財務活動によるCF	△ 1,584	△ 2,786	△ 1,201
現金及び現金同等物の増減額 ※2	△ 1,104	925	2,030
現金及び現金同等物残高	11,190	11,753	562

■26年3月期第2四半期キャッシュ・フロー主な内訳■

(単位:百万円)

	25年3月期 第2四半期	26年3月期 第2四半期	増減額
◆営業活動によるCF◆			
・税金等調整前四半期純利益	943	1,155	211
・減価償却費	2,825	2,711	△ 114
・運転資金	165	1,722	1,556
・その他	△ 151	87	239
◆投資活動によるCF◆			
・固定資産の取得による支出	△ 3,385	△ 2,302	1,083
・固定資産の売却による収入	149	200	50
・その他	△ 67	139	207
◆財務活動によるCF◆			
・有利子負債増減	△ 396	△ 1,728	△ 1,332
・配当金の支払額	△ 1,169	△ 1,037	131
・その他	△ 19	△ 19	△ 0

(単位:百万円)



※1 フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

※2 現金及び現金同等物の増減額には現金及び現金同等物の増減額に係る換算差額を含む。

平成26年3月期通期連結業績計画

当社グループは、お客様に信頼される「より安全で安心」な食品の提供に努め、「お客様第一」「コンプライアンスの徹底」「安全性と品質の追求」を基本方針とし、「多角化戦略の推進」「グループ経営の強化」「商品開発力の強化」などの諸施策を軸に企業活動を推進してまいります。

下期の当社グループを取り巻く環境は、原材料価格の高騰やお客様の節約志向、商品の低価格化などによる販売競争が激化するなど厳しい事業環境が続くものと想定されます。

以上の結果、26年3月期業績計画は、期初の予定を変更いたしました。

■通期見通し■

(単位:百万円)

	25年3月期			25年3月期				26年3月期		
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期計画	前年同期比増減額	前年同期比増減率	通期計画	前年比増減額	前年比増減率
売上高	103,080	103,929	207,009	105,128	111,872	7,943	7.6%	217,000	9,991	4.8%
営業利益 (売上高比率)	1,853 (1.8%)	1,461 (1.4%)	3,314 (1.6%)	1,140 (1.1%)	1,860 (1.7%)	399 (0.3%)	27.3% -	3,000 (1.4%)	△314 (△0.2%)	△9.5% -
経常利益 (売上高比率)	1,866 (1.8%)	1,741 (1.7%)	3,607 (1.7%)	1,324 (1.3%)	1,976 (1.8%)	235 (0.1%)	13.5% -	3,300 (1.5%)	△307 (△0.2%)	△8.5% -
当期純利益 (売上高比率)	918 (0.9%)	1,111 (1.1%)	2,029 (1.0%)	586 (0.6%)	914 (0.8%)	△197 (△0.3%)	△17.7% -	1,500 (0.7%)	△529 (△0.3%)	△26.1% -
1株当たり利益	7.07円	8.56円	15.63円	4.52円	7.03円	△1.53円	△17.9%	11.55円	△4.08円	△26.1%
1株配当	-	-	8円	-	-	-	-	8円	-	-

(注)この資料に記述されている計画数値は本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって計画数値と異なる場合があります。

平成26年3月期通期セグメント別連結業績計画

(単位:百万円)

	25年3月期							26年3月期		
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期計画	前年同期比増減額	前年同期比増減率	通期計画	前年比増減額	前年比増減率
加工食品事業	75,120	73,784	148,904	74,071	78,929	5,145	7.0%	153,000	4,096	2.8%
食肉事業	27,762	29,956	57,718	30,888	32,712	2,756	9.2%	63,600	5,882	10.2%
その他	197	189	386	169	231	42	22.2%	400	13	3.4%
連結売上高	103,080	103,929	207,009	105,128	111,872	7,943	7.6%	217,000	9,991	4.8%
加工食品事業 (売上高比率)	1,802 (2.4%)	1,418 (1.9%)	3,221 (2.2%)	1,230 (1.7%)	1,620 (2.1%)	202 (0.2%)	14.2% -	2,850 (1.9%)	△ 371 (△ 0.3%)	△ 11.5% -
食肉事業 (売上高比率)	△ 47 (△ 0.2%)	△ 36 (△ 0.1%)	△ 83 (△ 0.1%)	△ 187 (△ 0.6%)	187 (0.6%)	223 (0.7%)	- -	0 (0.0%)	83 (0.1%)	- -
その他	97	79	177	97	53	△ 26	△ 32.9%	150	△ 27	△ 15.3%
営業利益 (売上高比率)	1,853 (1.8%)	1,461 (1.4%)	3,314 (1.6%)	1,140 (1.1%)	1,860 (1.7%)	399 (0.3%)	27.3% -	3,000 (1.4%)	△ 314 (△ 0.2%)	△ 9.5% -

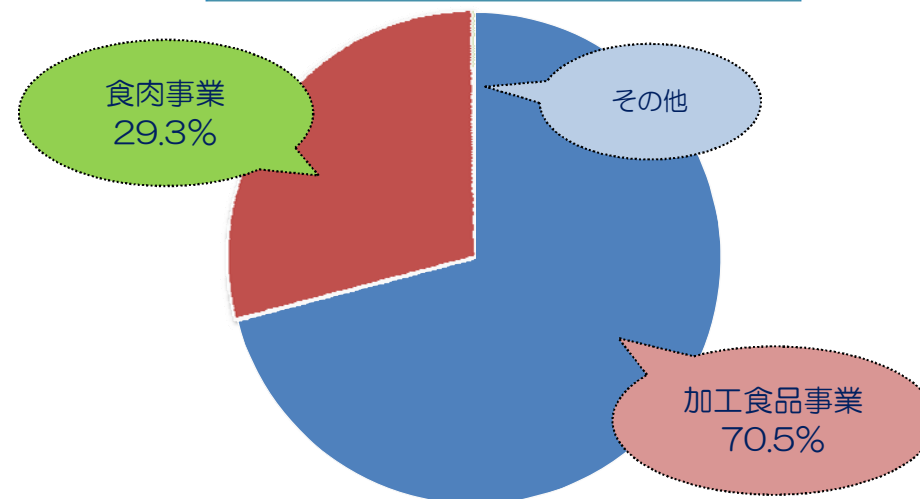
■加工食品事業■

- ・主力のハム・ソーセージの積極的な販売活動や調理・加工食品の業容拡大に努め、グループ全体としてのシナジー効果を生み出せるようグループ経営の強化を図ります。

■食肉事業■

- ・食肉全般の需給動向を的確に捉え、消費者や顧客のニーズに合致した食肉販売の推進により、売上の拡大に取り組んでまいります。

セグメント別売上高構成比通期見通し



(注) この資料に記述されている計画数値は本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって計画数値と異なる場合があります。

平成26年3月期主力商品紹介



丸大食品食育キャラクター
「わんぱくくん」

丸大食品

ハム・ソーセージ部門

加工食品

事業

調理・加工食品部門

がんばれ!ニッポン!

丸大食品は、1986年よりJOC(日本オリンピック委員会)オフィシャルパートナーとして、オリンピックに出場する日本代表選手団を支援すると共に、代表選手を起用したプロモーションを実施してまいりました。これからも、食を通じて、未来のアスリートを力強く応援してまいります。

丸大食品は、ハム・ソーセージなどで、日本代表選手団を応援しています。

がんばれ!ニッポン!フェア

丸大食品は、ハム・ソーセージなどで、ソチオリンピック日本代表選手団を応援しています。

2014年ソチオリンピック がんばれ!ニッポン!ライセンス商品



丸大ギフト



© SUNRISE/BANDAIDENTSU.TV TOKYO
© BANDAI

具材をアレンジして
**私だけの
サンドウブを**

スンドゥップ1 Beauty 唐辛子のカプサイシン
スンドゥップ2 Beauty 豆腐のイソフラボン
スンドゥップ3 Beauty トマトのリコピン

New! 三ま豆乳 スンドゥップ



丸大食品

本資料の記載内容には、将来に関する計画や戦略、業績の見通しの記述が含まれています。これらの記述は現時点で把握可能な情報等から得られた当社の判断に基づいております。また、これらの見通しには潜在的なリスクや不確実な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績は、記載の見通しとは異なる可能性があります。